

令和7年度

和歌山県立和歌山ろう学校 第1回学校運営協議会

令和7年6月10日(火) 10:00~12:00

出席者： 委員7名 傍聴者4名

場所： 和歌山県立和歌山ろう学校 ミーティング室

【会議の流れ】

- ① 校長挨拶
- ② 学校運営協議会委員委嘱
- ③ 委員長の選出
- ④ 学校運営方針について(説明、協議、承認)
- ⑤ 理容科・美容科を中心に授業参観
- ⑥ 参観の感想
- ⑦ 質疑応答
- ⑧ その他

【概要】

- ① 学校長挨拶
 - 和歌山ろう学校の現況
- ② 学校運営協議会委員の委嘱
 - 任命と自己紹介
- ③ 和歌山ろう学校運営の重点方針の提案
 - 令和7年度各学部の取組

○学校評価

- ・学校ビジョンである「グランドデザイン～素敵プロジェクト～」
- ・令和7年度学校運営方針
- ・4つの重点目標
 - 聴覚障害教育における専門性の継承と向上
 - 授業改善及び授業力の向上
 - センター的機能の充実と地域との連携
 - 安心・安全な学校づくり

④【協議・意見等】

- ・教員が研修によく取り組まれている
- ・きこえとことばの教育相談について、南紀はまゆう支援学校等の県内支援学校や福祉とも連携して取り組まれており、特色ある取組である。
- ・学校評価は分かりやすくする
- ・現状より高い評価を目指す
- ・教科の専門性を高めるために地域の学校との連携をする
- ・大学の見学も実施する
- ・近隣校や地域の方と避難訓練を実施することも視野に入れる

令和7年度

和歌山県立和歌山ろう学校 第2回学校運営協議会

令和7年11月20日(木) 10:00~12:00

出席者： 委員 8名 傍聴者 5名

場所： 和歌山県立和歌山ろう学校 ミーティング室

【会議の流れ】

- ① 校長挨拶
- ② 近況報告
- ③ 授業参観
- ④ 高等部連携授業「社会福祉」の取組
- ⑤ 協議
- ⑥ その他

【概要】

- ① 学校長挨拶
 - 本校の状況(デフリンピック等)
- ② 近況報告
 - 和ろう祭について
 - ・PTA 清掃活動等
 - 新制服について
 - ・児童生徒の声を大切に生徒心得の見直しと制服の新調
 - 体育館の修繕工事
 - ・10月31日から工事開始、3月31日工事終了予定

③ 協議・授業参観の感想等

○幼児児童生徒

- ・成長を感じることができた
- ・楽しく誰も孤立することなく成長してほしい

○学校環境

- ・学校がきれいになっている
- ・あたたかい雰囲気がある
- ・静かな環境である
- ・階段に鏡や廊下にパトライトがあり配慮がなされている
- ・他の学校との交流を増えるとよい
- ・入学者が増えるとよい

○ろう学校のアピール

- ・学校間連携授業や理美容科の取組について、分かりやすいチラシがあれば知ってもらえる
- ・デフリンピックでの卒業生の活躍を知ってもらう

④ その他

- 県外から寄宿舍に入ることができるようになった

令和7年度

和歌山県立和歌山ろう学校 第3回学校運営協議会

令和8年2月19日(木) 13:00~15:00

出席者： 委員10名 傍聴者5名

場所： 和歌山県立和歌山ろう学校 ミーティング室

【会議の流れ】

- ① 校長挨拶
- ② 報告
 - ・各学部の取組
 - ・令和7年度学校評価シート
 - ・学校評価アンケート結果
- ③ 協議
 - ・学校評価シートについて
 - ・今年度の振り返りと来年度に向けて

【概要】

- ① 学校長挨拶
- ② 報告
 - 令和7年度の各学部の取組
 - ・学部接続を意識したキャリア教育
 - 学校評価シートの説明
 - ・重点取組とその評価について
 - 学校評価アンケート結果
 - ・学校運営協議委員の評価集計を共有

③ 協議・授業参観の感想等

○学校評価

- ・各学部の取組資料は様式をあわせる
- ・交流の機会は様々な経験ができる。また、いろいろな人と学び合える場になる
- ・選挙公約を見て、任せることで、自主性が育まれることの大切さに気づかされた
- ・良い評価がたくさんある
- ・あたたかい学校の雰囲気がある
- ・取組が充実しているように感じる
- ・「小さい集団」を強みにした各学部の取組がある
- ・交流について地域性がある取組が展開されている。学校間交流、居住地校交流、学校間連携授業について、目的や取組内容をまとめるのもよい。
- ・芸術やスポーツを盛り上げてほしい

○今年度の振り返りと次年度に向けて

- ・学校運営協議委員からの指摘を受け、学校評価アンケートの評価項目をパーセンテージで示し、分かりやすくした。
- ・学校評価アンケートのこども向け・保護者向け・教職員向け学校評価アンケートの改善も行った。
- ・キャリア教育について、学校全体で見直し計画を立てる必要がある。